

コスモス 1月号

第68巻 第1号

◆宮柁ニカレンダー(10) 一月の歌

新しきとしのひかりの檻に射し象や駱駝はな
におもふらむ
歌集『日本挽歌』

宮柁二には新年詠が数多くある。それらは新聞、雑誌などの依頼をうけて作られた歌がほとんどである。掲出歌も昭和二十七年一月八日の「毎日新聞」に掲載されたものであるから、制作したのは前年の十二月中であろう。よくこの歌の動物園はどこかが話題となるがはっきりとはしない。前年(昭和二十六年)の五月に横浜市保土ケ谷区の日本製鉄の社宅から杉並区上高井戸の社宅に転居しているので、近くに動物園はない。過去に見た光景か、或いは想像で詠まれたものか。いずれにしても新年詠に象や駱駝を詠むという発想が新しく、秀作であろう。

(影山 一男)